

2020年11月6日
電源開発株式会社

二酸化炭素地中貯留技術研究組合への加入について

電源開発株式会社（以下、Jパワー、本社：東京都中央区、代表取締役社長 社長執行役員：渡部 肇史）はこの度、「二酸化炭素地中貯留技術研究組合」に加入しました。

同技術組合は地球温暖化対策上の重要な技術である、二酸化炭素回収・貯留技術（CCS：Carbon dioxide Capture and Storage）の実用化を目指して、我が国の貯留層に適した実用化規模（100万トン/年）でのCO₂地中貯留技術の開発や、CCSの社会受容性の獲得を志向した研究開発を行うものです。

Jパワーは、石炭火力のゼロエミッション化に向けた技術開発を推進するとともに、脱炭素社会の実現に向けて積極的に取り組んで参ります。

二酸化炭素地中貯留技術研究組合の概要

- (1) 実用化に向けた取り組みの概要
 - ・ CO₂圧入・貯留の安全管理技術の確立
 - ・ 大規模貯留層有効圧入・利用技術の確立
 - ・ CCS普及環境整備・基準の整備
- (2) 所在地： 京都府木津川市木津川台9丁目2番地
公益財団法人 地球環境産業技術研究機構内
- (3) 理事長： 山地 憲治（公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 副理事長）
組合員： 応用地質株式会社、国際石油開発帝石株式会社、石油資源開発株式会社、大成建設株式会社、電源開発株式会社、JX石油開発株式会社、国立研究開発法人 産業技術総合研究所、公益財団法人 地球環境産業技術研究機構
(6企業、1国立研究開発法人、1公益財団法人)

以上